

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法・・・定額法によっている。
 (2) リース取引の処理方法・・・通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っている。
 (3) 消費税の会計処理・・・消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	15,000,000	0	0	15,000,000
定期預金	605,000,000	0	0	605,000,000
小計	605,000,000	0	0	620,000,000
特定資産				
大河内賞引当資産	52,000,000	0	0	52,000,000
小計	52,000,000	0	0	52,000,000
合計	657,000,000	0	0	672,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
普通預金	15,000,000	—	(15,000,000)	—
定期預金	605,000,000	(605,000,000)	—	—
小計	620,000,000	(605,000,000)	(15,000,000)	—
特定資産				
大河内賞引当資産	52,000,000	(52,000,000)	—	—
小計	52,000,000	(52,000,000)	—	—
合計	672,000,000	(657,000,000)	(15,000,000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	18,624,498	5,736,332	12,888,166
合計	18,624,498	5,736,332	12,888,166

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細・・・財務諸表に対する注記2.に記載のとおり。